

## 離婚協議書（サンプル）

〇〇 〇〇（以下「甲」という。）と△△ △△（以下「乙」という。）は、本日、離婚することに合意し、協議の結果、養育費等に関し、以下のとおり契約を締結した（以下「本契約という」。）。

### 第1条（離婚の合意等）

甲及び乙は、本日、協議離婚すること、及び本契約成立後速やかに、乙において離婚の届出（以下「本件離婚」という。）をすることに合意した。

### 第2条（親権）

甲及び乙は、本件離婚に伴い両名間に出生した未成年の長男□□（令和〇年〇月〇日生、以下「丙」という。）、長女◇◇（令和〇年〇月〇日生、以下「丁」という。）（以下、丙、丁を併せて「子どもたち」という。）の親権者を乙と定め、子どもたちが成年に達するまでの監護・養育については乙が担当することと定めた。

### 第3条（養育費）

甲は乙に対し、子どもたちの養育費として、令和〇年〇月から、子どもたちがそれぞれ20歳に達する日の属する月までの間、一人につき1か月〇〇〇円を支払うこととし、これを毎月末日限り、乙の指定する金融機関の口座に振り込んで支払う。振込みにかかる手数料は甲の負担とする。

### 第4条（面会交流）

乙は、甲が子どもたちと月〇回程度面会交流することを認め、その実施に協力する。ただし、面会の具体的な日時、場所、方法等は、甲と乙が、子どもたちの福祉に十分配慮しながら協議して定めるものとする。

### 第5条（財産分与）

甲は、乙に対し、財産分与として金〇〇〇万円の支払義務が存することを認め、以下のとおり分割して乙の指定する金融機関の口座に振り込んで支払う。振込みにかかる手数料は甲の負担とする。

- （1）令和〇年〇月〇日限り 〇〇〇万円
- （2）令和〇年〇月〇日から令和〇年〇月まで毎月末日限り 〇万円

### 第6条（慰謝料）

甲は、乙に対し、慰謝料として金〇〇〇万円を支払う義務が存することを認め、令和〇年〇月〇日限り、乙の指定する金融機関の口座に振り込んで支払う。振込みにかかる手数料は甲の負担とする。

### 第7条（清算条項）

甲及び乙は、本件に関し、本条項に定めるものの他、お互いに、一切、債権・債務を有しないことを確認した。また、今後、名目の如何を問わず、互いに何らの財産上の請求をしない。

上の記載の通り、甲、乙の間で契約を締結したことの証しとして、本契約書を2通作成し、甲、乙それぞれが署名押印の上、各自1通ずつを保有する。

令和〇年〇月〇日

(甲) 住所

氏名

印

(乙) 住所

氏名

印